

表 1

県民だより（9月5日発行）は次のとおりです。
山武水道企業団（給水原価395円→水道料金165円）

130円以上助成対象

水道料金	市町村補助金	県補助金	県貸付金
165円	44円	44円	142円

八匳水道企業団（給水原価588円→水道料金152円）

130円以上助成対象

水道料金	市町村補助金	県補助金	県貸付金
152円	115円	115円	206円

表 2

3ヶ年（52～54）県補助金見込額

企業団名	標準財政規模 推 計 額	県補助金見込額 (左の3%以内)
山武水道企業団	25,952,190千円	778,561千円
八匳水道企業団	11,202,547千円	336,075千円

3ヶ年(52～54)総費用額、使用見込水量(参考)

企業団名	総 費 用 額	使用見込水量
山武水道企業団	6,961,187 千円	17,645,573m ³
八匳水道企業団	1,714,761 千円	2,918,600m ³

表 3

水道料金算出表

企業団名	期間内使用水量	期間内総費用	m ³ 当り単価
山武水道企業団	(S52～55年) 74,589,064m ³	(S52～55年) 12,147,562千円	165円
八匳水道企業団	(S52～61年) 46,306,668m ³	(S52～61年) 7,070,418千円	153円

※総費用は、期間内の維持管理、減価償却、企業債利息、資本コスト及び変動費を想定したものです。

先の県民だより（九月五日付）で、県の水道事業に対する大幅助成が発表されました。この中で一立方メートル当りの補助金が、八匳水道より山武水道の方が少ないように表現されていたため誤解を招きましたが、この補助金は、水量を基礎に交付されるのではなく、企業団構成市町村の財政規模の三パーセントを限度として各企業団へ交付されるものです。

水道料金の違いについての問題であり、水道料金算定の基本は損益勘定に基づく原価主義に

よるもので、その算出根拠は、計画期間の昭和五十二年から五十五年（八匳水道は六十一年度）までの給水原価を想定し、これを基として計算した計画期間の平均原価（水一立方メートルに要する経費）を販売単価としたのが、表三の一六五円です。また八匳水道と料金に異なるのは、立地条件等の相違によるものです。

山武 八匳 水道の県費補助金と料金格差について

山武郡市広域水道企業団

町内全域 漏水当番割

十一月	○			○						○						○			○						○					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	渡辺住設	市原ポンプ	東京工務	秋葉電気	富田工務店	進日本工業	栄成工業	大成工業	渡辺住設	市原ポンプ	東京工務	秋葉電気	富田工務店	進日本工業	栄成工業	大成工業	渡辺住設	市原ポンプ	東京工務	秋葉電気	富田工務店	進日本工業	栄成工業	大成工業	渡辺住設	市原ポンプ	東京工務	秋葉電気	富田工務店	進日本工業

十二月	○			○						○						○			○						○						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	栄成工業	大成工業	渡辺住設	市原ポンプ	東京工務	秋葉電気	富田工務店	進日本工業	栄成工業	大成工業	渡辺住設	市原ポンプ	東京工務	秋葉電気	富田工務店	進日本工業	栄成工業	大成工業	渡辺住設	市原ポンプ	東京工務	秋葉電気	富田工務店	進日本工業	栄成工業	大成工業	渡辺住設	市原ポンプ	東京工務	秋葉電気	富田工務店

(○印は日曜・祭日)

昭52.11～52.12.31日

渡辺住宅設備(2) 1227
市原ポンプ(2) 2110
東京工事機械(2) 1257
秋葉電気(2) 2484
富田工務店(2) 0642
進日本工業(2) 3337
栄工業(2) 3933
大成工業(2) 4301